

NIFS KANOYA FC

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	熊本県教員蹴友団	H	● 1 - 2	Ky uリーグ開幕にあたり、ご準備していただきました関係各位ならびに会場設営および運営等をしていただいた沖縄県の関係者の方々に深謝申し上げます。 1勝1敗で2戦を終えましたが、得点と勝点を積み上げながら上位を目指します。閉幕までよろしくお願いいたします。
2	FC中津	A	○ 2 - 0	
3	海邦銀行SC	H	○ 3 - 0	幸先よく先制したものの、その後は一進一退の内容であった。後半に運良く追加点を奪うことができ、勝点3を手にする事ができた。 失点することなく試合を終えることができたのは、選手たちの高い集中力があつたからだと感じる。課題となる点も多くあることから、次節に向けてTRに励みたい。 海邦銀行SCの皆さま、遠くまでお越しいただきありがとうございました。
4	川副クラブ	A	○ 3 - 0	前半の立ち上がりはお互いに得点チャンスがあり、拮抗した試合展開であつたように感じる。徐々にボールを支配する時間が増え、シュートチャンスが増えていった印象である。 しかし、シュートが枠を外れるなど力不足が露呈したかたちとなつた。後半に追加点を挙げる事ができ、勝点3を手にする事ができた。 会場設営や運営など多岐にわたりご準備をいただいた川副クラブの皆様、佐賀県サッカー協会の皆様、ボールパーソンをしていただいた中学生の皆さんありがとうございました。
5	新日鐵住金大分	A	△ 1 - 1 (PK4-3)	試合開始序盤から相手ペースで試合が進んだことにより、我慢しきれず失点という流れであつた。その後、同点に追いつけたことで落ち着いた試合運びができたように感じる。 勝点2をもぎ取ることができたが、試合内容からしても反省点は多い。選手たちの経験値を考えても伸びしろには期待できる。日々の練習に励みたい。 新日鐵住金大分の皆さま、大分県サッカー協会の皆さま、会場設営・試合運営など、早朝からご準備いただきありがとうございました。 冷たい風が吹くなかでボールパーソンをしてくださった大分工業高校サッカー部の皆さんにも感謝申し上げます。
6	九州三菱自動車	H	▲ 0 - 0 (PK3-4)	ホーム2戦目となつた九州三菱自動車戦は強い風にボールが流され、思うようにボールを支配することができない状況が続いた。 両者ともに決定機があつたものの、決めきることができずPK戦へ。勝点1を得たが物足りない試合内容であつた。 九州三菱自動車の皆様、遠方までお越しいただきありがとうございました。
7	J.FC MIYAZAKI	A	● 0 - 3	前半のうちに3失点を喫し、流れを掴めないまま後半を迎えた。後半はボールを支配しペースを握ることができたが、相手の堅い守備を崩すことができず無得点で試合を終えることになつた。 J. F C M I Y A Z A K Iの皆様、宮崎県サッカー協会関係者の皆様、ボールパーソンの高校生の皆様、準備・運営等ありがとうございました。
8	沖縄SV	A	○ 5 - 1	試合序盤から被シュートシーンが多く、予想通り劣勢の状況で試合が進んだ。幸運にも2点を先制し、その後1失点を喫したもののリードして後半へ。 後半も失点につながる場面があつたが、GKを中心としたDF陣が集中を切らさず、3点を追加し勝点3を得ることができた。
9	佐賀LIXIL	H	● 0 - 3	暑さと前日の疲労からか1歩が遅くミスも多い内容であつた。ボールを保持することができず、守備の時間が増え前半に失点した。 後半はボールを支配するものの、効果的な攻撃ができず、試合終盤にミスから2失点した。個々において安定したプレーが必要であり、後期に向けて早急な改善を要する。 佐賀LIXIL、川副クラブ、両チームの皆様、佐賀県サッカー協会関係者の皆様、ボールパーソンの佐賀工業高校、鳥栖工業高校の皆様、暑い中、準備・運営を行っていただきありがとうございました。 また、九州協会ならびにリーグ関係者の皆様、平素はお世話になりありがとうございました。後期もよろしくお願いいたします。
10	熊本県教員蹴友団	A	○ 1 - 0	カウンター攻撃を主体とする相手にどのような対策が必要かをテーマとし試合に挑み、なんとか1-0で勝利することができた。 大きなピンチがありながらも守備陣が最後まで耐えたことが大きい。多彩な攻撃ができるチームにしていきたい。
11	FC中津	H	○ 2 - 0	前半は風上に立ち、4本の決定機を逃した。後半に入っても落ち着いてプレーすることができずボールロスト回数が増加し、相手チームに決定機を与える場面もあつた。 この試合でも守備陣が奮闘しゴールを守り抜いたことが勝因であると感じる。 最後に、運営をして頂きました大分県サッカー協会の皆様、新日鐵住金大分様、FC中津様、ボールパーソンの皆様、2日間ありがとうございました。
12	海邦銀行SC	A	○ 2 - 1	前半の立ち上がりからボールを支配するが、相手チームの気迫に押し戻される場面が続いた。 11番の選手に翻弄されながらも、ボールを奪取したあとは攻撃のスイッチを緩めることを辞さず果敢に相手ゴールを目指すことができ先制点を奪うことができた。 その後、同点とされたが落ち着いてプレーし続けたことが勝点3につながつたと感じる。 運営をしていただきました沖縄県サッカー協会の皆様、早くから会場設営等の準備をしていただきました海邦銀行SCの皆様、暑い中ボールパーソンや救護員を務めていただいた沖縄尚学高校の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

NIFS KANOYA FC

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
13	川副クラブ	H	○4-1	<p>前半立ち上がりからボールを支配することができ、立て続けに3得点をする事ができた。</p> <p>前半の課題を後半に修正できるよう挑戦したが、相手のギアが上がり思うようにプレーできなかったことが課題として挙げられる。</p> <p>9月のリーグ再開までにレベルアップできるよう練習に励みたい。</p> <p>鹿児島県サッカー協会の皆様、川副クラブの皆様、遠方までお越しいただきありがとうございました。</p>
14	新日鐵住金大分	H	○3-2	<p>前節から中約1ヶ月あきのゲームということもあったためか、序盤の入りは悪くなかったものの、新日鐵さんのパワフルな攻撃に2失点と難しいゲーム展開となった。</p> <p>しかし、前半の終わりから後半にかけて攻撃の幅を用いた自分たちのサッカーを展開できるようになり、結果的に逆転という結果を得ることができた。</p> <p>また、最後の相手の追い上げを何とかしのぐことができたことも1つのポイントであった。次節に向けて、さらにステップアップし勝ち星を積み重ねたい。</p> <p>最後に、運営に携わっていただいた鹿児島県サッカー協会の皆様、遠方から来ていただいた新日鐵住金大分の皆様、ありがとうございました。</p>
15	九州三菱自動車	A	○3-2	<p>前半の失点、後半に同点にし逆転するも前半と同じ形で失点をしてしまい、同点となった。</p> <p>両チームともに試合展開は悪くなかったが、決定機をつくり合い、観ていて楽しい試合をすることができたと思う。</p> <p>審判員の方々、福岡県サッカー協会の関係各位、九州三菱自動車の皆様、ボールパーソンの中学生の皆様、ありがとうございました。</p>
16	J.FC MIYAZAKI	H	●3-5	<p>上位チームとの対戦で失点を最小限に抑えることを念頭に置いて挑んだが、立ち上がりから簡単な失点が続き、開き直るしかない状況となった。</p> <p>後味の悪い試合内容を反省し、残りの2試合に全力を注ぎたい。フェアプレーを心がけてくださったJ.F.Cさん、ありがとうございました。</p> <p>鹿児島県協会、ならびに審判員の方々に感謝申し上げます。</p>
17	沖縄SV	H	●1-6	<p>NIFS KANOYA FCとしては毎年チームが様変わりし、新たなチームとして戦って行かなくてはならないという条件の中、今年もシーズン序盤でのチームとしてうまく噛み合わず、苦戦を強いられる場面も多く勝ちきれない試合が続いた。しかし、試合を戦って行くなかで、成長し地力をつけて戦い抜く強いチームとしての姿勢を見せることができた。</p> <p>結果として、上位としての成績で終えることができたことからそれらを証明している。</p>
18	佐賀LIXIL	A	○1-0	<p>来シーズンもチームは様変わりするが、新たに強いチームとして今シーズン以上の成績を残したい。</p> <p>今季最後の集中開催での沖縄SV様、佐賀LIXIL FC様、宮崎県サッカー協会様、そして、シーズン1年を通してお世話になりました九州サッカー事務局の皆様、九州社会人連盟の皆様、九州審判協会の皆様並びに、各会場で運営補助をしていただいた皆様に感謝し、来シーズンも何卒よろしくお願いたします。</p>